

## 平成26年度第4回若葉区地域福祉計画推進協議会会議録

日 時 平成27年3月4日(水)  
10時00分～12時00分  
場 所 若葉保健福祉センター3階 大会議室  
委員定数 31名、出席委員：20名  
事務局：11名、傍聴人：1名

### 【1】次第

1 開会

2 議題

- (1) 支え合いのまち千葉推進計画～第3期千葉市地域福祉計画～の策定状況について
- (2) 今後における各地区部会エリアの状況把握について
- (3) 若葉区第3期計画の基礎資料の作成について

3 その他

4 閉会

## 【2】議事要旨

### 2 議題

#### 【議題1】支え合いのまち千葉推進計画～第3期千葉市地域福祉計画～の策定状況について

高齢障害支援課

まず、名称についてです。

これまでは第二期千葉市地域福祉計画としており、策定当初は第三期千葉市地域福祉計画としておりましたが、市民に「支え合い」「助け合い」「市民主体のまちづくり」などのイメージが伝わり、広く親しみを持って関わってもらえる計画になるように、タイトルを「支え合いのまち千葉推進計画」としております。

これに伴いまして若葉区地域福祉計画も「若葉区支え合いのまち推進計画」としております。

なお、若葉区地域福祉計画推進協議会の要綱については4月から「若葉区支え合いのまち推進協議会」となり、改正を進めております。

進捗状況について説明いたします。

まず、平成26年10月22日に第3回若葉区地域福祉計画推進協議会にて計画内容の承認をいただいております、その後の内容変更はございません。

次に、11月9日に若葉区地域福祉計画市民説明会を行っております。参加者は76名で内訳は、自治会関係者13名、社協地区部会関係者24名、民生委員児童委員関係者32名、推進協委員3名、その他9名となっております。

次に、平成27年2月2日～3月2日でパブリックコメントの手続きを行い、現在集計中です。

今後は、3月13日の地域福祉専門分科会を経て、4月から実施をする予定です。

若葉区市民説明会での主な意見をご紹介します。

- ①災害時支援体制における人材育成の必要がある。
- ②社協の第二次計画と整合性を保つ必要がある。
- ③社協地区部会以外に活動主体が必要である。
- ④計画に基づく活動の資金を考えるべきである。
- ⑤計画の目標値を定めるなど、計画推進の結果がわかるようにすることが必要である。

なお、その他が挙げられましたが、計画の文面の修正意見はなく、今後の活動を推進するうえでの課題に関する意見がございました。

以上です。

(質疑応答)

<p>委員長 地域福祉課</p>	<p>完成した計画書は委員に配布されるのでしょうか。</p> <p>今後の計画策定についてですが、パブリックコメントでいただいた意見を反映させた最終案を事務局で取りまとめている最中でございます。</p> <p>その後、3月13日開催予定の地域福祉計画専門分科会でご承認をいただければ3月末までに市長名で計画決定を行う予定です。</p> <p>決定後は製本し、推進協議会委員や自治会、地区部会、民生委員の皆様にも5月頃配布予定となっております。</p>
<p>委員 A</p>	<p>市民説明会での質問内容について</p> <p>「計画の目標値を定めるなど、計画推進の結果がわかるようにすることが必要である。」</p> <p>この意見の真意を考察してみたのですが、計画主体は行政であると認識されているのではないのでしょうか。主体者は地域住民であるという当事者意識が希薄なのではないでしょうか。</p> <p>主体者は地域住民なのだと言われたい文句が計画案にあっても良いのではないかと思います。</p>
<p>地域福祉課</p>	<p>「支え合いのまち千葉推進計画」は地域住民と行政が連携・共同していくのが最大のコンセプトであり、委員の皆様にご理解いただけていることは非常に心強いです。</p> <p>とは言ふものの、実際計画書として作成すると、地域住民の中には、この計画は行政計画であるので行政主体と認識している方が大多数いらっしゃるかと思います。</p> <p>我々も計画の周知を促していく中で、自分たちの地域は自分たちで良くしていこうという考えを地域住民の皆様にもっていただき、推進協議委員の皆様と一緒に地域福祉活動を活発にする取り組みをしていかなければならないと思っております。</p> <p>ご質問についてですが、それぞれの地域ごとに重点取組項目を決め、年度ごとに評価していただく仕組みをとることで地域福祉活動の活発化や地域住民意識向上の一助になればと良いと思っております。</p>
<p>委員長</p>	<p>地域住民の方が福祉に対する考えがあるか否かは難しい問題かと思っております。一步一步進めていく必要があるかと思っております。</p> <p>ひとつの覚悟というか気持ちをもって取り組んでまいりましょう。</p> <p>地区部会の皆様からご意見ございますか。</p>
<p>委員 B</p>	<p>地域ケア会議について</p> <p>お互いの本来の立場を認識し合い連携をとりながら取り組んでいただければならないと思っておりますが現実はなかなか難しいと思っております。</p>

それぞれの担当課で行政指導をしていただけないでしょうか。

委員長 推進体制についてそれぞれ懸念しているということですが、事務局としてのご意見はいかがでしょうか。

所長 山中 センターとして「若葉区支え合いのまち推進計画」に係る各団体の方々に対して計画の推進、協力をお願いという点については地区に向くなど様々な機会を通じて、ご意見のあった自助・共助・公助の体制を示し地域住民の皆様と一体となって推進していくことの周知に努めてまいりたいと考えております。

また、この後の議題にあるアンケート調査も周知活動の一端としております。

委員長 委員Aからの文言追加は対応していただけますか。

地域福祉課 計画書の修正ということであれば、協議会後にお示しいただければ事務局で検討致します。計画の最終段階でございますので、具体的なご意見をお願いします。

委員長 委員Aからの意見としては、スローガンとして一文追加してもらえないかということだと思いますが。

お答えがいただけないのであれば再度ご検討ください。

所長 山中 今後、計画の周知活動の中で、住民主体であることを強調するよう本課に申し伝えたいと思います。

(質疑終了) 承認

## 【議題2】各地区における重点取組項目選定について(若葉区地域福祉計画の最終案)

社会福祉協議会 平成26年6月4日に開催しました第1回若葉区地域福祉計画推進協議会で、第3期地域福祉計画の作成スケジュールについて説明いたしました。

平成27年3月末までに重点取組項目の具体化の作業として「活動主体」「活動内容」「事業量」「計画値」などを各地区部会エリア毎に決めていただくことになっております。

本来であれば様式等について推進協でお諮りして進めるべきところではございますが、期限もありますので事務局で様式を作成し、昨年の12月より地区部会エリアごとに説明し進めているところです。

なお、すでに各地区において項目ごとに地区部会または地区連協が

中心となり進めているところです。

平成27年2月13日開催の推進協運営企画委員会で、委員の皆様のご意見を反映させた様式修正をしておりますが、地域の皆様にご記入いただく基本的な部分は変わっておりません。

それでは、資料1をご覧ください。

「第3期若葉区支え合いのまち推進計画 重点取組項目の進捗状況記録票」は記載例をもとに説明させていただきます。

記録票については、1つの重点取組項目に対し1枚記入となります。

まず、選定した項目が新規立ち上げなのか、既存の活動を拡大・拡充していくのかについて○を付けていただき、基本方針、施策の方向性、重点取組項目を記入します。

3ヵ年の具体的取組について年度ごとの取組内容、取組みを進めていく上での活動主体、選定した項目の現状と課題を記入します。

そして、取組みを進めていく上での「箇所数、活動回数、参加者数」などの指標単位を設定します。また、各年度の目標値を設定し年度末に実績を記入します。

下の票は、各年度の進捗状況と新たな課題を整理し、裏面では、具体的な取組内容を箇条書きで整理します。

各地区部会エリアに表面の目標まで検討していただき、今月末までが提出期限となっております。

なお、各地区部会代表の委員の机には、様式を置かせていただいております。すでにご記入いただいている地区におかれましては、以前の様式をご提出ください。これからご記入いただく地区については、この様式をお使いください。よろしくお願いいたします。以上です。

(質疑応答)

委員 C 記録票の表面下部にある各年度の「進捗状況及び新たな課題の記載欄」、裏面の具体的取組について記入するのは予定か実績か。

社会福祉協議会 年度が終了した活動の実績としてご記入ください。  
地域住民の皆様や事務局が計画進捗状況の把握のため作成したものととなります。

委員 D 目標、実績の欄についての記載については、平成25年度活動開始して平成26年に活動実績がないものについての記載はどうするのでしょうか

委員 A 平成25年で活動終了したものについては記入できないという理解してよろしいでしょうか。

社会福祉協議会 継続してきた活動実績の記入で構わないが、平成25年度で活動終

了しているものについては記入いただけないこととなります。

**委員 E** 1つの活動に対して1枚提出でよいとのことだが、1つの重点取組項目に係る活動を2つ行う場合はどう記入したらよいでしょうか。1つの活動に対して1枚であれば2枚記入すれば良いのでしょうか。

**社会福祉協議会** 別々にご提出いただいても、目標・実績の項目を二段書きしていただいても、どちらでも結構でございます。

**委員 長** 事務局で把握したいから提出してほしいとのことだが、提出時期が来たときに文書で知らせてもらえるのでしょうか。

**社会福祉協議会** 今回は3月末までとお伝えしておりますが、来年度以降は文書での連絡を予定しております。また、事務局でも把握しますので推進協議会での取組状況での報告を考えております。

**委員 長** 第2期地域福祉計画での各地域における報告は、活動実績として一か所でも複数箇所開催していても「開催している」という報告でした。第3期地域福祉計画からは実数で推進されているのかが分かるようになっておりますので是非ご活用ください。

**社会福祉協議会** 旧様式で記入していただいたものについては、そのままご提出いただければ事務局で新様式に整理いたします。

**委員 長** 事務局で様式についての説明に回って下さっておりますが、地域で何か共通した課題や取組みなどはあるのでしょうか。

**社会福祉協議会** 「活動団体同士の連携・交流」項目については、あんしんケアセンター主催で地域ケア会議が立ち上がってきております。  
重点取組項目として掲げられているエリアとしては5地区が来年度立ち上がる予定です。今後ともあんしんケアセンターと調整をして進めてまいります。

**委員 F** 少し本題とずれてしまうのですが「気軽に過ごせる居場所づくり」を展開するのは、高齢者にとって有意義なやり方ではないかと思えます。地区部会が一か所で大規模に行うだけでなく、各地域で行っているものもあるのではないのでしょうか。また、各地区部会エリアでとりまとめることが出来たら理想ではないのでしょうか。  
そういった指導を各末端機関にできる環境づくりが必要ではないかと思えます。

また、意見として自治会の存続自体が難しい箇所が多くなっている  
ので地区部会との連携や会員数を増やすなどの取組みが急務なのでは  
ないかと思えます。

社会福祉協議会

地区部会エリアごとに重点取組項目を設定していただく話し合いの  
なかで「開催する自治会館は遠いから自分たちの会館を使用して開催  
してくれないか」などご意見を頂いております。

地区部会エリアごとに設定していただいた重点取組項目になります  
ので、必ずしも活動主体に沿って展開するだけでなくエリア内の団体  
同士で役割分担をしていただくことを想定しております。

委員 長

報告については地区部会で取りまとめるという考え方で良いでしょ  
うか。

委員 G

改めて確認なのですが、地区部会が自治会の意見をまとめて報告す  
るといふことでしょうか。

社会福祉協議会

選定した項目に対して主体が自治会や地区部会であっても実際互い  
に連携しないと推進できない項目もあろうかと思えますので、エリア  
でとりまとめて頂き報告していただきたいと考えております。

委員 B

地区部会活動とは関係なく、自治会など単独開催している場合はど  
うなるのでしょうか。

社会福祉協議会

エリアで把握できる範囲内で活動している活動団体数をご報告いた  
だければと思っております。

委員 B

自治会運営について福祉のまちづくりに参入してもらえるよう指導  
はあるのでしょうか。

地域振興課

自治会加入について

年々加入数は増加しているが加入率は減少傾向にあります。

減少理由としては、大型マンションなどが増えることによる分母の  
増加によるものです。少しでも加入率を上げられるように自治会への  
加入促進や、支え合いや見守り活動を自治会単位で広め、実態を把握  
しながら継続して働きかけをしてまいりたいと思っております。

委員 B

現代社会に沿った自治会活動があった方が良くと思います。

まだ、福祉活動の必要性を感じていない自治会は多くいらっしゃる  
ので、事務局としても危機意識をもっていただきたいと思えます。

地域振興課

一年ごとに会長が変わる団体が半数以上いる状態では、自治会長ごとに働きかけても推進には結び付きにくいことかと思えます。

例えば、自治会内に福祉部会を設けるなどして促進してまいりたいと思えます。また、福祉活動に対して取り組む意欲の高い方が自治会長に就任された時に働きかけを強めていきたいと考えております。

委員長

老人クラブで開催している場合はどうしたら良いのでしょうか。

社会福祉協議会

地区部会エリア内で実施している活動は可能な限りご報告いただきたいと思っております。

(質疑終了) 承認

### 【議題3】若葉区第3期計画の基礎資料の作成について

高齢障害支援課

基礎資料の作成についてはアンケートの実施を行います。  
依頼文(資料2)をご参照いただき、資料に沿ってご説明致します。

#### アンケートの目的

若葉区内の各種団体が行っている地域福祉活動の情報を一元化して「若葉区支え合いのまち推進計画」を実施するうえでの資料とするとともに、アンケート結果を区民の皆様にお知らせし、それぞれの活動の連携を深めるほか、活動への参加者の拡大などに役立てていただくために実施いたします。

#### 調査方法

貴団体の主催している地域福祉活動(調査票の裏面参照)について、アンケート用紙(資料3)にご記入の上、返信用封筒で返送していただく予定です。なお、活動ひとつにつきアンケート用紙1枚ずつの作成をお願いする予定です。

#### 依頼先

社会福祉協議会地区部会・各町内自治会・NPO・ボランティアグループなど約260団体を予定しております。

#### 郵送時期

第3期地域福祉計画書が4月末～5月に仕上がる予定です、計画書を各自治会長宛てに発送する5月中旬頃に合わせて調査票の郵送いたします。



#### 記載方法について

記載例に基づき説明いたします。

各調査項目に対し、回答欄にご記入いただきます。

- 1 取り組み内容（裏面の該当番号を選択していただきます。）
- 2 主催者
- 3 協力団体
- 4 活動年数
- 5 活動開始年月
- 6 活動回数
- 7 参加スタッフ数
- 8 参加者
- 9 会議等の拠点
- 10 活動資金
- 11 社協地区部会以外の活動団体へ  
立ち上げたい活動について伺います。  
（裏面の該当番号を選択していただきます。）

#### 調査結果集計について

返送されたアンケート内容をエクセルデータにてデータベースを作成し、協力団体集計や活動年数別集計などの調査結果を分析・グラフ化し、地域住民の皆様に若葉区の情報をホームページや「しあわせのまち若葉」などで還元できるようになります。

説明は以上です。

（質疑応答）

- |         |  |
|---------|--|
| 委員 C    | 自治会や地区部会、その他団体がテーマごとに同じ内容で提出されることが予想されると思いますが、何か対応があるのでしょうか。 |
| 高齢障害支援課 | 集計時に、複数団体から同じ活動内容が提出された場合も調整は可能となります。                        |
| 委員 C    | まったく同じ内容だが、表現の仕方が違うなどありえると思いますがいかがでしょうか                      |
| 高齢障害支援課 | 主催に関する項目で単独開催や共同開催を判断し、詳細部分については電話連絡にて事実確認をしております。           |
| 委員 D    | アンケートについて  |

重点取組項目に掲げたものであるのか、それ以外のものを報告して良いのでしょうか。

所長 山中 今回のアンケートは全ての福祉活動について何うものになります。主旨としては、区内の様々な活動を事務局で資料にしたい考えがございますので、可能限り集約する予定でございます。

委員 長 依頼文を郵送にて送るだけでしょうか。

所長 山中 例えば自治会の総会の場で事前にご説明をした上で、郵送する予定となっております。

委員 F 活動が地域でまたがっている場合、例えばセーフティウォッチャーなどの場合、依頼文の内容に「地域でまたがっている場合は、自治会で調整してほしい」旨を記載してもらいたいと思います。

委員 B 青少年スポーツ振興会などの活動はどうされるのか。

所長 山中 今回のアンケート対象について、スポーツ活動は検討しておりません。アンケートデータの活用については、推進計画を進めていくうえで地域住民の皆様へ視覚的にわかりやすい形でまとめたものを推進協だよりやホームページで報告してまいりたいと考えております。

委員 H 第4期地域福祉計画においては、認知症予防に特化して展開していただきたい。地域は老老介護、老老支援となっております。各自治会が主体的に介護予防支援に主体的になってほしい、また、促していこうと思います。  
行政は、医療や保険面で助力願いたいと思います。

委員 長 重点取組項目以外は取り組まなくて良い訳ではございませんので、各地域のニーズに沿って積極的に展開していただければと思います。  
また、活動状況についてなどご報告いただければ共有することも可能かと思っておりますので、今後とも経過をお伝えください。  
また、あんしんケアセンターとの連携も重要となりますので、多いに連携をとっていただければと思います。

委員 E 地域福祉計画をご存じでない団体も多く見受けられる。今回、活動を広めていく中で連携を図るのに大変な労力を掛けた経緯があります。事務局からの協力体制があれば少し違ったものになったのではないかと考えております。その辺りもご配慮下さると助かります。

所長 山中	区内全域に一律にご理解頂くのは難しいことかと思いますが、その場に同席し、一緒にご説明をして広めていくことは出来ますので、ご連絡やお声掛けいただければと思います。
委員 B	学校関係者、民生委員、地区部会との連携はどうなっているのでしょうか。
委員 E	当地区では、比較的連携は良好に図れております。 セーフティウォッチャーも年々増加傾向にあります。
委員 長	最後に、事務局から連絡がございます。
高齢障害支援課	今回は、新年度6月頃開催予定となりますのでよろしく願いいたします。  (質疑終了) 承認